

【東川】おしゃれを決めて、登山を楽しむ「山ガール」と呼ばれる20～30歳代の女性でこの秋、大雪山系の山々がにぎわった。
(木村啓太)

そこに山がある

山ガール急増中

体験型観光のアグリテック

道山岳ガイド協会(札幌)

(東川町)が「山ガール限定」の登山会を旭岳で9月下旬に開いたところ、定員20人に倍近い申し込みがあった。ピンクやオレンジ、紫などの登山服を着た参加者は初心者向けコースに挑戦。

「山ガール」の火付け役は旭川市の会社員(21)は「雑誌やテレビで見た『山ガールファッション』から入りました。旭岳がこんなに気持ちいいなんて」と楽しげに話していた。

「山ガール」の火付け役は旭川市の会社員(21)は「雑誌やテレビで見た『山ガールファッション』から入りました。旭岳がこんなに気持ちいいなんて」と楽しげに話していた。

「山ガール」の火付け役は旭川市の会社員(21)は「雑誌やテレビで見た『山ガールファッション』から入りました。旭岳がこんなに気持ちいいなんて」と楽しげに話していた。

「山ガール」の火付け役は旭川市の会社員(21)は「雑誌やテレビで見た『山ガールファッション』から入りました。旭岳がこんなに気持ちいいなんて」と楽しげに話していた。

秋の大雪山系をカラフル装備で

り上げの伸び率では全国の系列店で一番」と話す。

東川町の登山ガイド鳥羽晃一さん(40)は「中高年の登山ブームにかげりが見え始めており、若い女性が山に入ってきたことは素直にうれしい」と語る。

ただ、同時に鳥羽さんは、「山は天候が急変するなど危険が潜む。下調べと適した装備を忘れず、できれば冬山は経験者と同行して」と呼びかけている。

カラフルな服装で旭岳登山を楽しむ「山ガール」たち 9月26日、

